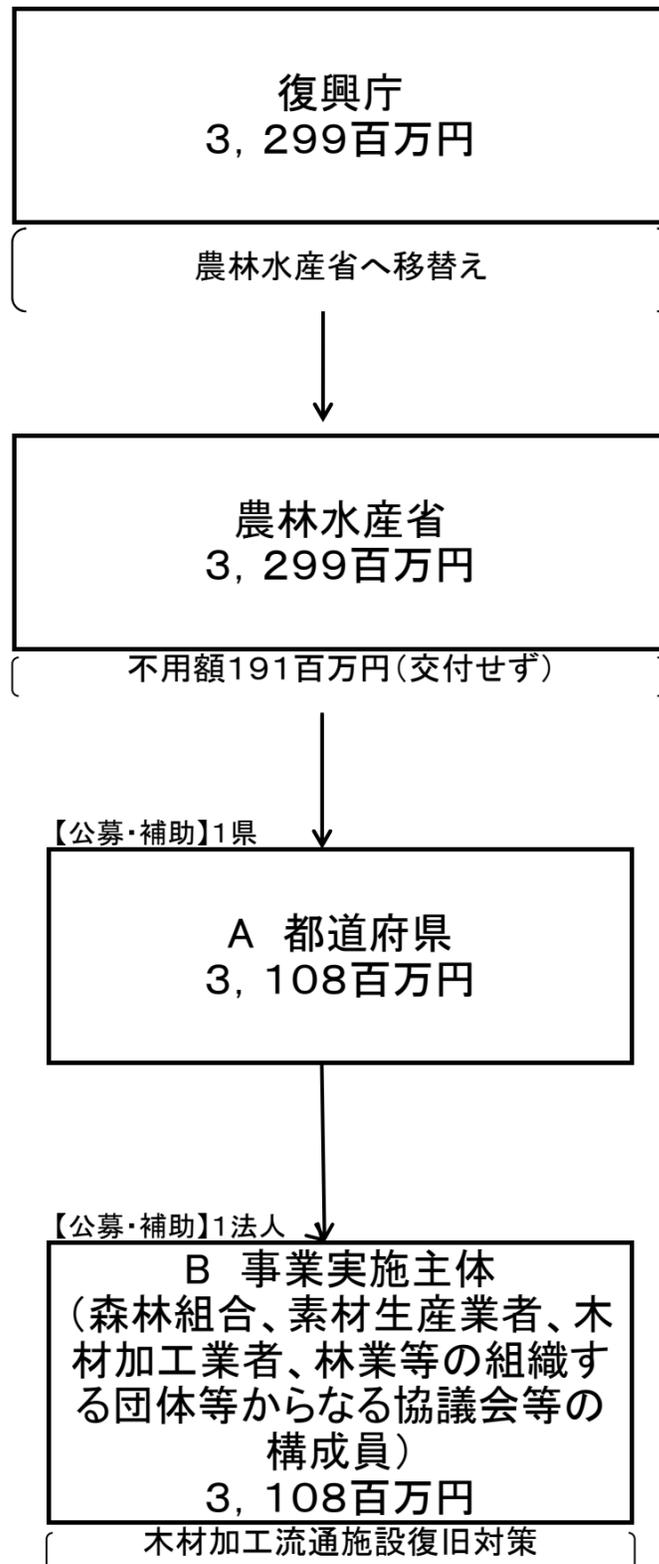


平成27年度行政事業レビューシート(復興庁)

事業名	木材加工流通施設等復旧対策事業			担当部局庁	復興庁		作成責任者	
事業開始年度	平成26年度	事業終了(予定)年度	平成32年度	担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官 小瀬 達之	
会計区分	東日本大震災復興特別会計			政策・施策名	政策：復興施策の推進 施策：東日本大震災からの復興に係る施策の推進			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	森林・林業基本法(第24条、第25条)			関係する計画、 通知等	東日本大震災からの復興の基本方針 (平成23年7月29日東日本大震災復興対策本部)			
主要政策・施策				主要経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	被災した木材加工流通施設の復旧・整備等を支援し、木材等の安定的な生産、供給体制を再建する。また、地域の主要産業である林業・木材産業の活動を再開すること等により、地域住民の雇用・生活の場を確保する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	木材加工流通施設の復旧等 被災した合板工場等の施設整備(点検修理・復旧等)を支援する。 補助率:1/2							
実施方法	補助							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	3,299	143	143	
		補正予算	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-		
	計	0	0	3,299	143	143		
	執行額	-	-	3,108				
執行率(%)	-	-	94%					
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 32年度
	事業最終年度に復旧した木材加工施設における雇用人数を69人確保する。	復旧した木材加工施設における雇用人数	成果実績	人	-	-	40	
			目標値	人	-	-	-	69
			達成度	%	-	-	80%	
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 32年度
	事業最終年度に木材の加工・供給能力を70千m3まで復旧する。	(参考指標) 木材の加工・供給能力の復旧	成果実績	千m3	-	-	0	
			目標値	千m3	-	-	-	70
			達成度	%	-	-	0%	
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	木材加工流通施設の復旧	活動実績	施設	-	-	1		
		当初見込み	施設	-	-	2	2	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	木材加工流通施設の復旧 補助金総額/施設数		単位当たり コスト	千円	-	-	3,107,500	71,700
			計算式	/	-	-	3,107,500千円 ÷1施設	143,400千円 ÷2施設
平成27・28 年度 予算 内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	補助金	143	143					
	計	143	143					

事業所管部局による点検・改善					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	震災により被災した木材加工流通施設の復旧等を図り、地域経済の再生と雇用の創出に寄与する。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	上記の事情から、他に委ねることができない事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	復興に必要な木材を安定的に供給することを目的としており、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	沿岸の合板工場が被災したことにより失われた原木供給先の受け皿として妥当である。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	関係要綱・要領に則り妥当である。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	経済的・効率性の見地から、事業計画の妥当性を確認している。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	合理的となっている。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	経済的・効率性の見地から、事業計画の妥当性を確認している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	不用額は、平成25年度中の完成が危ぶまれた宮城県の加工工場分として予算要求に盛り込んでいたものだが、結果的に平成25年度中に無事完成したため、不用となったもの。	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	経済的・効率性の見地から、事業計画の妥当性を確認している。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	事業最終年度の目標に向かって、順調に雇用が確保されている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	事業の目的を達成するために必要最小限の設備費用となっている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見込みどおりの木材供給体制を構築し、順調に生産を開始している。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	本格稼働に向けて順調に生産を開始している。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	本事業は、震災により被災した木材加工流通施設の復旧等を図ることにより、復興に必要な木材を安定的に供給することを目的としており、優先度の高い事業となっている。			
	改善の方向性	適切な執行に努めて参りたい。			
外部有識者の所見					
引き続き、適切な進捗管理、効率的な執行に努めること。					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	被災した木材加工流通施設の復旧・整備等を支援し、木材等の安定的な生産、供給体制を再建することを目的とした復興に資する必要性の高い事業である。引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	引き続き効率的・効果的な予算の執行に努めていく。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	新26-021	平成26年度	新26-013		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.都道府県(岩手県)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	木材加工流通施設等復旧対策整備費補助金	3,108			
計		3,108	計		0
B. K株式会社			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	合・単板加工施設装置等の購入及び設置費用として支出	3,108			
計		3,108	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	岩手県	木材加工流通施設等復旧対策整備費補助金	3,108	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	K 株式会社(岩手県)	合・単板加工施設装置等の購入及び設置費用として支出	3,108	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					